

緊 急 声 明

(一社) 宮城県精神科病院協会
会 長 岩 館 敏 晴

昨日（令和5年8月31日）開催された宮城県精神保健福祉審議会において、村井嘉浩知事は名取市に最大120床規模の民間精神科病院を公募する考えを明らかにした。県南の精神疾患患者、精神障がい者に配慮したものだというのが、基本は**本来県が責任をもって担うべき役割を民間に丸投げする**という従来の県の姿勢を改めて表現したものであった。

もし公募というなら、県立精神医療センターを名取市に残した上で、**富谷の新病院こそ公募するべき**であり、その新病院は「合築」といわず身体合併症に対応する総合病院精神科の機能に特化した病院にすれば良いだけである。

今回も、県が精神科医療の実情についてあまりにも無理解であることを露呈しており、当会としては県立精神医療センターの富谷市移転に改めて反対し、知事の提案も宮城県における精神科医療に対する誠実さに欠けるものと考え、この提案に反対するものである。